

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年2月8日(2007.2.8)

【公表番号】特表2006-514645(P2006-514645A)

【公表日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【年通号数】公開・登録公報2006-018

【出願番号】特願2004-560488(P2004-560488)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/138	(2006.01)
A 6 1 K	9/06	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/14	(2006.01)
A 6 1 K	47/38	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/04	(2006.01)
A 6 1 P	5/24	(2006.01)
A 6 1 P	5/30	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/138
A 6 1 K	9/06
A 6 1 K	47/10
A 6 1 K	47/14
A 6 1 K	47/38
A 6 1 P	35/00
A 6 1 P	35/04
A 6 1 P	5/24
A 6 1 P	5/30
A 6 1 P	43/00
	1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月14日(2006.12.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被験者のマンモグラフィー感度を上げる方法であって、

4 - ヒドロキシタモキシフェンを経皮投与するステップを含む方法。

【請求項2】

マンモグラフィーを実施する方法であって、

前もって4 - ヒドロキシタモキシフェンを経皮投与された被験者にマンモグラフィーを実施するステップを含む方法。

【請求項3】

被験者の分類I IIまたは分類I Vの高密度乳房組織の乳房密度を低下させる方法であって、

4 - ヒドロキシタモキシフェンを経皮投与することを含む方法。

**【請求項 4】**

前記4-ヒドロキシタモキシフェンが水性アルコールゲルに製剤されている請求項1～3のいずれかに記載の方法。